

生駒市市政顧問が従事した職務の遂行に係る情報

議 題	DX
日 時	令和 6 年 12 月 18 日（水） 15：00 ～ 17：00
場 所	特別会議室ほか（市政顧問はオンライン参加）
出 席 者	市政顧問 市長、副市長、CDO デジタルイノベーション推進課長、同課課長補佐、同課プロジェクトマネージャー、同課職員 企画政策課企画官
主 な 意 見 （概要）	○担当から DX 推進リーダーの制度化について説明 ○市政顧問の主な意見は以下の通り。 ・ 次世代のリーダー育成は管理職の重要な仕事だが、DX は育成手段の一つとして考えられる。部門内の若手人材に、DX 推進リーダーの役割を与えて取り組ませてはどうか。業務改善などを部外から指摘されると、担当者は自らの仕事を否定されているような気持ちになって上手くいかないことも危惧される。 ・ DX 推進リーダーの任命は、若手人材から手が挙がるのが理想だが、管理職が生駒市職員のバリューに合っている若手から選出するやり方もある。DX 推進リーダーの相互啓発や情報交換、モチベーションの向上などを目的に、各部のリーダーを集めて定期的な会合を行うことで効果を上げている自治体もある。 ・ やる気になった人材に対して、より目線を上げるような仕組みを作るために、外部研修や著名人と話せるような機会があってもいい。褒めることや手当を付けるということではなく、チャンスを提供するようなことができればいい。 ・ 若手のスキルを実感する機会として、管理職と若手人材を一緒にした研修を行ってみるのも効果的。 ・ DX の必要性については、みんな頭では理解している。腹落ちさせることに労力を使うのはあまり生産的ではない。デジタルトランスフォーメーションを育成手段として用いるという市長のトップダウンが大切。その上で、部下をしっかりと育成している部門が評価されて、周囲に好影響を与えていくようなになればいい。